

タブレットがぐっと身近になる

# Hello, Tablet!

2023年

Vol.11

1月

教育総合研究所

## 雲をつかむような話

### 今号のもくじ

- ◇ そうけんさんのICT奮闘記  
必要な情報が見つからない
- ◇ デジタル・シティズンシップ教育  
親子で学ぶデジタル・シティズンシップ教育
- ◇ 雲をつかむような話  
クラウドについて知って欲しい二、三の事柄

日々のトラブル

DX川柳

賢いね 私の気持ち 察してよ

クラウドサービスの充実、AIの進化などDXが進む昨今ですが、まだまだ気持ちまでは察してもらえませんが。いかに上手く使いこなすか。今後の課題ですね。



Take it easy

## そうけんさんのICT奮闘記

連載 第6回



今月の困りごと **必要な情報を探すだけで日が暮れる**

ペーパーレス化が進んで様々なものがファイルで共有されるようになったけど、最近、整理が追いつかないなあ。授業の課題もデータで提出するものが増えてきてクラスのフォルダや授業のフォルダであふれかえっているし。おまけに電子データがない紙の書類をPDFにして保存しているけど、この手間を考えたら紙のままでもいいんじゃないかな。紙ファイルの背表紙に名前を書いて、近くの棚に保管しておいた方がすぐに手にとることができるし、みんなも見やすいし実はクラウドより便利なのかも。

### Answer

**クラウドサービスは検索機能が充実しているので、共有スペースでは敢えて整理分類をしないという選択肢もあります**

個人の端末ではデータを整理分類して管理していると思います。もちろん、クラウド上の共有スペースでも決してそれは悪いことではありません。しかし、扱う情報量が飛躍的に増えている現状を考えると、担当者が項目ごとに仕分けし、個人がそこにファイルを格納したりファイルを探したりという作業はどんどん煩雑になってくると思います。

そこで、クラウド上の共有スペースでは検索して目的のファイルにたどり着くスタイルに変更することがおすすめです。効率良く検索するためにファイルの命名規則を決める必要がありますが、担当者の手間や情報の出し入れの時間は大幅に削減されるはずです。それと、乱雑に並んだファイルに慣れることも大切です。整理したくなる気持ち、よく分かります。

お便りのコーナー お便りが来ませんでした…

お便りが来なかったのでAI(哀?)のお話でもしようと思います。

AIを使った学習プログラムやオンラインプラットフォームを通じて、児童・生徒たちは自己学習をすることができます。また、AIを使ったテストやクイズを作成することで、成績を自動的に記録したり、フィードバックを受けたりすることもできます。一方で、AIを活用した授業にはいくつかの注意点もあります。例えば、AIを使った学習プログラムやテストでは、児童・生徒たちが自己学習をするためには、十分な情報や指導が必要です。また、AIを使った授業では、生徒たちが人間の指導者から学んでいるような感覚を持つことができないため、生徒たちがモチベーションを維持し、学習を継続することができるかどうかにも注意する必要があります。

# 親子でデジタル・シティズンシップ教育を学びました！ ～「親子で学ぼう！デジタル・シティズンシップ」～

鹿谷小学校では、全校児童を対象に「デジタルの手がかり」というテーマで、親子講演会を行いました。子ども達は、保護者と一緒に探偵になり、各教室に隠された動物の足跡カードから手がかりとなる情報を集め、相手を特定することができる動物を探し当てるゲームに取り組みました。活動を通して、インターネットで共有する情報は、デジタル足跡や手がかりとなって残ることを学びました。また、ICTをポジティブに活用する良き行動へとつなげるために、インターネットで共有してもよい情報とは何かをみんなで考えました。これからのデジタル社会を幸せに生きていくためにはどのような行動をとればよいのか、子どもだけでなく保護者や教職員も一緒になって考える機会となりました。

## 活動の前にアドジャンでアイスブレイク



お互いのことを話すのって、楽しいね！

## 探偵になって、手がかりとなる情報を探そう！



アイススケートが好きって書いてあるね。



このカードには、誕生日が書いてある！



保護者も一緒に！

自分が嫌なことと友だちや相手が嫌なことは、それぞれ違うんだということに気がつきました。



ネットを利用するときには、「立ち止まる・考える・相談する」の3つのステップがあることを確認しましょう。



## 講演会を終えての感想

### 児童の声

- ・インターネットは、やったぶん足あとがのこります。ネットでは、じぶんがすんでいるところは教えてはいけないなんて知りませんでした。ネットをつかうことになったら、きょう知ったことを思いだしてつかいたいと思います。(2年生)
- ・これから、インターネットを使うときが増えると思います。そんなとき、今回の授業で学んだことを生かして、正しくインターネットを使いたいと思います。(5年生)
- ・個人情報を送ってはいけないことは知っていたけど、知らせても良いことや足跡が残ることは初めて知ったので、インターネットを利用する時はしてもいいことなのか、安全なのか、一度立ち止まって考えて行動したいです。(6年生)

### 教職員の声

- ・子ども達がデジタル空間を自由に利用するのは、主に家庭生活の中だということを教員も保護者も互いに自覚したいです。子ども達がデジタル弱者に陥らないように、周りの大人達が協力して子ども達を見守って行きたいと思います。
- ・保護者の方も、子どものインターネット使用について悩んでいるという話をよく聞くので、一緒に考える機会をもてたことがよかったと思います。

### 保護者の声

- ・教室での情報探しゲームはどの子もいきいきと楽しんでおり、遊びながら学べました。親から注意してもなかなか響かないので、このような場で学ぶと残るだろうと思いました。
- ・個人情報のことは、知っているようで知らないこともありました。今後は、小さい頃からネットのことを勉強しておくのは大切だと思いました。



# Cloud

## について知って欲しい

## 二、三の事柄

よく聞くクラウドという言葉、なんだかとらえどころがないですよね。それなのに教育現場での活用が求められています。今回はクラウドについて知ってもらいたい事柄について御紹介します。ちなみに下記のガイドラインにクラウドという言葉はなんと560回も出てきます。

学習環境の多様化、教員の働き方改革の実現等、クラウドは教育現場の改善の手段としても有力な解決策の一つである

文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」(令和4年3月)より

### 1. クラウドの活用

クラウドの活用といえば狭い意味ではファイルの共有だと思われがちですが、実際には、個人の端末などではできないことをネット上の様々なサービスを使って行うことを指します。あくまでも個人の端末はそのサービスに接続するための入り口として使うというイメージになります。

### 2. クラウドの利点

1で書いたようにクラウドを活用すれば、新しい学びに対応するための機材などを揃える必要がありません。ネットワーク上にある様々な資源を使うことで、高性能ではない学習用端末あっても、画像の編集やプレゼンの作成、AIの利用に機械学習だって行うことができます。明日からでも始められる準備はできていますよ。

### 3. クラウドの課題

2で書いたようにクラウド上に新しい学びを始める準備はできています。しかし、そこには回線品質とセキュリティリスク(制限や規制)という大きな壁が。でも、本当の課題はこの2点にとらわれてやる前から諦めてしまうこと。初めての人は学習支援アプリのように周囲からアドバイスをもらいやすいものから活用を始めてみませんか。

文部科学省の文章に560回も出てくることから分かるように、クラウドの活用はこれからの教育の前提条件になりつつあります。これは教育に限った話ではなく社会全体の流れとなっています。

そこで、クラウドを活用をする際には、どのような問題を解決したいのか、どのようなメリットを期待するのかを考え、目的を明確にすることで、導入や活用に対する意識を高めることができます。

冒頭で取り上げたガイドラインに対する手引きのコラム欄を読むだけでも参考になるかと思しますので最後に御紹介します。

[「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」ハンドブック\(令和4年3月\)](#)

お便りはこちらまで!

<https://forms.gle/6QdJ5mHm8ZooyxSN9>



実はこの通信はペーパーレスを意識して印刷前提のレイアウトになっていません。電子媒体で共有していただければ幸いです!

次号は2月1日発行予定

編集後記  
くもをつかむよう【雲を掴むよう】  
漠然としてはつきりしない様。手応えがなく、つかみどころがない様。  
今月号はクラウドについて御紹介しました。中々つかみ所のない内容ですが、つかむきっかけになれば幸いです。  
雲をつかむようなと言えば、AIの活用もドリル教材くらいしかイメージが湧きませんよね。でも、実は今号の表紙絵と一割弱の文章はクラウドサービスを活用したAIによるものだったりします。